

軽防協ニュース速報 号外

2006年8月18日
軽種馬防疫協議会 事務局
(JRA 馬事部防疫課)

アメリカ合衆国における水胞性口炎の発生について

米国における水胞性口炎の2006年最初の症例が、米国農務省動植物衛生検査部 (APHIS) から報告された。概要は以下のとおりである。

感染馬はワイオミング州中央に位置する Natrona 郡 (キャスパー近郊) の施設に在きゅうする10歳馬であり、米国農務省国立獣医学研究所 (NVSL) における cELISA およびウイルス分離により、水胞性口炎ニュージャージー株 (VS-NJ) 感染との確定診断がなされた。

同馬は8月13日に鼻部の腫脹が確認されたため、翌14日に開業獣医師による再検査を受けた。その際、口腔内にも異常が確認されたことから、直ちに APHIS に連絡がなされ、同日から調査が開始されたものである。

感染馬は施設からの最近の移動歴はないものの、牧場周辺には Culicoides (ヌカカ) とサシバエが多数いることが報告されている。同施設には临床上正常な29頭の馬と25頭の牛が飼養されており、現在、隔離措置がとられている。さらに、感染馬については他の動物との隔離措置もとられている。その他の防疫措置として昆虫防除措置が強化されている。

ワイオミング州農務省は、市民と獣医師に対して水胞性口炎の情報を公開し、感染拡大を防ぐための啓発活動を行っている。

[The Horse.com より : <http://www.thehorse.com/viewarticle.aspx?ID=7426>]

【参考】米国における最近の水胞性口炎の発生

米国においては、2004年および2005年に水胞性口炎の発生が下記のとおり確認されており、本年4月11日に米政府より OIE に終息報告が出された。

2004年

3州 (ニューメキシコ、テキサス、コロラド)、294施設、馬：405頭、牛：69頭

2005年

9州 (アリゾナ、コロラド、アイダホ、モンタ、ネブラスカ、ニューメキシコ、テキサス、ユタ、ワイオミング)、445施設、馬：584頭、牛：202頭